熱中症予防に向けた取り組みについて

1 趣旨

気候変動適応の一分野である熱中症対策を強化するため、令和6年4月1日に改正気候変動適応法が施行されました。

これは、熱中症の危険が極めて高い場合に国民に注意を促す「熱中症特別警戒情報」（通称：熱中症特別警戒アラート）を法定化するとともに、特別警戒情報の発表期間中における暑熱から避難するための施設の開放措置など熱中症予防を促す仕組みを創設する等の措置を講じるものです。

気象庁は、今夏も平年より高い気温になると発表しております。市では、市民が適切な熱中症予防行動ができるよう、市の熱中症予防に向けた取り組みを周知するものです。

2 令和5年度の熱中症警戒アラートの発表状況と救急搬送数

(1) 岩手県内の熱中症警戒アラートの発表回数

22回 ※令和4年度0回、令和3年度7回

(2) 大船渡市内の熱中症救急搬送数

50人 ※令和4年度12人、令和3年度14人

3 市の取り組み

(1) 熱中症警戒アラート及び熱中症特別警戒アラート発表時

- ① 防災行政無線広報、市公式SNSによる周知
- ② 介護予防事業等の中止
- ③ スポーツ活動等への注意喚起

(2) 今夏の対策

- ① 市と協定を締結している7事業者による高齢者の見守り
 - ・いわて生活協同組合
 - ・大船渡郵便局
 - ・ヤマト運輸(株)岩手主管支店
 - ・日本郵便(株)東北支社
 - ・明治安田生命保険相互会社岩手南支社
 - ・第一生命保険(株)盛岡支社
 - ・佐川急便(株)北東北支店
- ② 健康づくり推進員、民生委員・児童委員あてに地域住民への注意喚起の協力を要請
- ③ 「学校における熱中症対策ガイドライン」を策定し各校へ周知
- ④ 熱中症の応急手当方法、救急受診アプリ等についてリーフレット・チラシによる周知
- ⑤ 広報おおふなと、FMねまらいんによる熱中症予防の周知
- ⑥ 夢海公園のミストポールを供用
- ⑦ 公共施設等を「涼み処」として開放（詳細は次ページ）

【涼み処として利用できる公共施設等】

「涼み処」は、熱中症警戒アラート等の発表の有無にかかわらず、外出時に一休みするなど、気軽に利用できる場所です。

令和6年7月12日から9月30日までの間、下記施設が「涼み処」として開放されます。

なお、「涼み処」の選定は、市民等の利用が多く見込まれる市街地を中心に、冷房設備を有しており、10人以上がイス等で一休みできる施設としています。

今後も市内民間事業者等の協力を得ながら拡大していく予定です。

	施設名	開放時間	休館日等
1	サン・リアショッピングセンター	9:00～19:00	休館日なし
2	こども家庭センター交流 広場 (DACC O)	9:00～19:00	休館日なし 7月14日(日)から利用可能
3	リアスホール (1階レストランフロア)	9:00～21:00	火曜日 イベント時は利用不可
4	大船渡市防災観光交流センター (おおふなぼーと)	1階 9:00～18:00 2階 9:00～22:00	休館日なし
5	碓石海岸インフォメーション センター	8:30～17:15	休館日なし
6	Y・Sセンター (エントランスホール)	10:00～20:00	月曜日